

五泉市合併10周年記念事業

# 五泉市子ども市議会会議録

平成28年1月16日



五泉市子ども市議会

○**総務課長補佐（石川 聡君）** 大変お待たせいたしました。五泉市合併 10 周年記念事業  
五泉市子ども市議会の開会に先立ちましてご案内をいたします。

私は本日の進行役を務めさせていただきます総務課の石川です。よろしくお願いいたします  
します。

それでははじめに、この度の五泉市子ども市議会の主催者を代表いたしまして、伊藤  
市長がごあいさつを申し上げます。

伊藤市長はご登壇ください。

○**市長（伊藤 勝美君）** こんにちは。今ほどご紹介ありました市長の伊藤でございます

五泉市が合併いたしまして、10 周年を記念いたしまして、五泉市子ども市議会を開催  
するにあたりましてですね、一言ごあいさつ申し上げさせていただきます。

本日は児童・生徒の皆さん、子ども議員の皆さん、ようこそ議場にお越しいただきま  
してありがとうございます。またご来賓といたしまして、五泉市市議会議長の林茂様  
はじめ、五泉市教育委員会の各委員の皆さま、また傍聴席には五泉市の市議会議員の皆  
さまはじめ、保護者の皆さまから、大勢の皆さまからお越しいただきまして、大変あり  
がとうございました。今日子ども市議会、大変すばらしい質問と言いますか、日頃子  
どもたちが五泉市に関心を持ち、また五泉市の行く末を心配されてですね、今日質問の  
事項を提案されております。市といたしましても、誠実にご答弁させていただきます、  
生徒・児童の皆さんと一緒にですね、五泉市の将来を考えていきたい、このよう  
に思う次第であります。

合併して 10 周年になりました。昨年は合併の新市建設計画、10 年を目指しました第一  
次の総合計画、順調に進みまして、しかしながら人口減少問題等大きな課題が山積して  
おります。昨年の 10 月には五泉市の、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、総合戦略  
を立ち上げました。それをもとにですね、活気ある五泉市、また住みよい地域づくり、  
住んでよかった、住みたいまち五泉市を目指しまして、これから第二のスタートを切る  
ところでございます。来年度、平成 28 年度におきましては、第二次の総合計画を、この  
総合戦略を基礎といたしまして、作成しながらですね、今後の五泉市の 5 年後、10 年後  
のあるべき姿と一緒にですね、市民の皆さまと考えるながら協働でこの計画を立ち  
上げたい。

また、いろいろな施策、先ほど申しました、住んでよかった、住みたいまち五泉と、  
これを目指しまして、子どもからお年寄りまで幸せを感じられる五泉市のありようをで  
すね、皆さんと一緒に考えていきたい。今日またその出発点として、子どもの、  
児童・生徒の皆さんが大いに自信をもって質問していただきまして、ここに今日は市の  
幹部、全スタッフそろっています。真面目にお答えさせていただきます、一緒に議論  
させていただきます。

限られた議会の日程ではありますが、今後とも子どもたちの夢実現のために、市民の皆  
さんと協働で子どもたちの行く末を夢実現のために努力させていただきますことをお誓

い申し上げ、今日の子ども議会が盛会裏に終了しますことを心からご祈念申し上げ、また市民の皆さまがこの1年健康で幸せに暮らせますことを心からご祈念申し上げまして、開会にあたりまして一言ごあいさつさせていただきます。本日はよろしく、議員の皆さまお願いいたします。ありがとうございました。

○**総務課長補佐（石川 聡君）** 続きまして、本日お忙しい中五泉市子ども市議会にお越しいただきましたご来賓の皆様をご紹介します。

はじめに、五泉市議会議長 林 茂 様

続きまして、五泉市教育委員会委員 米原 裕子 様

同じく 坪井 祐子 様

同じく 本間 寛和 様

続きまして、五泉市小・中学校・幼稚園校園長会会長 金内 敬太郎 様の代理で 五泉中学校校長 吉澤 克彦 様

続きまして、五泉市PTA連絡協議会会長 関塚 真弓 様

それでは、ご来賓の皆様を代表いたしまして 五泉市議会議長 林 茂 様よりごあいさつを頂戴いたします。

林議長におかれましてはご登壇くださいますようお願いいたします。

○**五泉市議会議長（林 茂君）** どうもみなさん、こんにちは。今日は合併10周年の記念事業として、子ども議会ということでありまして、本当にご苦労様でございます。いつもより私はやっぱり緊張しておるわけでありまして、この場に立ったことあんまりないですから。また課長の皆さんも、市長はじめ、だいぶ顔が引きつっているっていうか、緊張しておられるようであります。そういうなかです、先ほど市長が申し上げましたように、将来の五泉市、どのようなまちづくりをしていくか、そういうことをここでいろいろと論議して、意見のやりとりをやるわけであります。

合併して10周年、五泉市も大体この10年過ぎましたけれども、この10年間で大体5,400人くらいの人口が減少しております。そういうなかで、高齢化、いろいろな中で大変な時代で、まちづくりも大変、このまちの運営も難しくなっております。そういう中で、皆さんからいろいろな、やはりこの若い子どもたちの観点から見た将来の五泉市の方向をやはりこの、遠慮なく発言していただきたいと、こう思っております。とにかくですね、やはりいろいろな意見の中で、みなさんもあと10年も経ったらです、このまちづくりに興味を持って、ぜひ市長候補に立候補するなり、また議会のほうに立候補するなりしていただきたい、こう思っております。今日は精一杯頑張ってください。ご苦労さまでございます。おめでとうございます。

○**総務課長補佐（石川 聡君）** ありがとうございました。

続きまして、自己紹介を行います。

自己紹介は、市内各小・中学校から公募により選出されました子ども市議会議員の皆さまからお願いします。議席番号の1番の方から順番にその場でご起立のうえ、学校名、

学年、お名前をお願いします。

それでは、議席番号1番の五泉小学校 田中菜月さんからお願いいたします。

- 1番(田中 菜月さん) 五泉小学校6年生 田中菜月です。よろしくお願いします。
- 2番(芹澤 柚香さん) 五泉南小学校6年 芹澤柚香です。よろしくお願いします。
- 3番(大江 真由さん) 五泉東小学校6年 大江真由です。よろしくお願いします。
- 4番(五十嵐 洋樹君) 川東小学校6年 五十嵐洋樹です。よろしくお願いします。
- 5番(大木 叶亜君) 巢本小学校6年 大木叶亜です。よろしくお願いします。
- 6番(齋藤 育さん) 橋田小学校6年 齋藤育です。よろしくお願いします。
- 7番(梅田 詩音さん) 大蒲原小学校6年 梅田詩音です。よろしくお願いします。
- 8番(難波 若菜さん) 村松小学校6年 難波若菜です。よろしくお願いします。
- 9番(戸井田 玲さん) 愛宕小学校6年 戸井田玲です。よろしくお願いします。
- 10番(落合 亮輔君) 五泉中学校2年 落合亮輔です。よろしくお願いします。
- 11番(廣瀬 新菜さん) 五泉北中学校2年 廣瀬新菜です。よろしくお願いします。
- 12番(相良 春香さん) 川東中学校2年 相良春香です。よろしくお願いします。
- 13番(齋藤 まるさん) 山王中学校2年 齋藤まるです。よろしくお願いします。
- 14番(丸山 藍花さん) 愛宕中学校2年 丸山藍花です。よろしくお願いします。
- 総務課長補佐(石川 聡君) 子ども市議会議員のみなさん、ありがとうございました。

続きまして、五泉市側の出席者の自己紹介をいたします。

それでは、市長からお願いいたします。

- 市長(伊藤 勝美君) 改めまして、こんにちは。市長の伊藤勝美でございます。よろしくどうぞお願いします。

- 副市長(五十嵐 明君) 副市長の五十嵐明です。よろしくお願いします。

「何事が呼ぶ者あり」

- 教育長(井上 幸直君) 教育長の井上幸直と言います。よろしくお願いします。
- 会計管理者兼ねて会計課長(西川 和明君) 失礼しました。会計管理者と会計課長を兼ねております西川和明と申します。よろしくお願いします。
- 支所長兼ねて地域振興課長(加藤 隆男君) 村松支所長と地域振興課長をしております加藤隆男です。よろしくお願いします。
- 総務課長(小黒 常樹君) 総務課長の小黒常樹と申します。よろしくお願いします。
- 企画政策課長(落合 英昭君) 企画政策課長の落合英昭と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 財政課長(塚野 剛樹君) 財政課長の塚野剛樹と言います。よろしくお願いします。
- 税務課長(星野 弘君) 税務課長の星野弘です。よろしくお願いします。
- 市民課長(湯浅 善章君) 市民課長の湯浅善章と言います。よろしくお願いします。

す。

- 健康福祉課長（浅井 隆子君） 健康福祉課長の浅井隆子と申します。よろしくお願いいたします。
- こども課長（佐久間 謙一君） こども課長の佐久間謙一です。よろしくお願いいたします。
- 高齢福祉課長（熊倉 淳也君） 高齢福祉課長の熊倉淳也と申します。よろしくお願いいたします。
- 都市整備課長（塚野 一也君） 都市整備課長の塚野一也と言います。よろしくお願いいたします。
- 上下水道局長（関塚 耕一君） 上下水道局長の関塚耕一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 学校教育課長（杉山 信二君） 学校教育課長の杉山信二と言います。よろしくお願いいたします。
- 生涯学習課長（川村 正美君） 生涯学習課長の川村正美と申します。よろしくお願いいたします。
- スポーツ推進課長（鬼立 利則君） こんにちは。スポーツ推進課長をしております、鬼立利則と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 図書館長（石垣 一幸君） 図書館長の石垣一幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 農林課長（佐藤 豊君） 農林課長の佐藤豊と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 農業委員会事務局長（笹川 和則君） 農業委員会事務局長笹川和則と申します。よろしくお願いいたします。
- 環境保全課長（寺田 亨君） 環境保全課長の寺田亨と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 商工観光課長（瀧澤 一之君） 商工観光課長の瀧澤一之です。よろしくお願いいたします。
- 監査委員事務局長（梁取 浩君） 監査委員事務局長の梁取浩と申します。よろしくお願いいたします。
- 消防長（板垣 良一君） 消防本部消防長の板垣良一と申します。よろしくお願いいたします。
- 消防署長（佐藤 志信君） 消防署長の佐藤志信と申します。よろしくお願いいたします。
- 議会事務局長（廣瀬 郁平君） 議会事務局長の廣瀬郁平と申します。よろしくお願いいたします。
- 総務課長補佐（石川 聡君） 自己紹介につきましては以上です。

それではご来賓の皆さまにおかれましては、恐れ入りますが、係員がご案内いたしま

すので、傍聴席にご移動くださいますようお願いいたします。

〔来賓は傍聴席に移動〕

○総務課長補佐（石川 聡君） 続きまして、五泉市子ども市議会議長の選出についてであります。

本来ですと、議員の皆さんの選挙により議長を選出するところではありますが、議事運営の都合により、あらかじめ午前中の打ち合わせの際に、抽選をさせていただきました。

また、本来は、議長、副議長を各1名選出し、議事の進行にあたるものではありませんが、本日はできる限り役割を分担し、多くの経験をしていただきたいという理由から、3名の議長を選出し、議事を進行していただくことといたしましたので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、本日の議長を務める3名のみなさんをご紹介します。

はじめに、五泉小学校の田中菜月さんです。

続きまして、村松小学校の難波若菜さんです。

もうお一方が、愛宕中学校の丸山藍花さんです。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、1番目に議長を務められます村松小学校の難波若菜さんは、議長席にお進みください。

〔議長が議長席に着く〕

○総務課長補佐（石川 聡君） それでは、ただいまから子ども市議会議長の議事進行によりまして、五泉市合併10周年記念事業 五泉市子ども市議会を進めさせていただきましたと思います。

それでは、難波若菜さん、よろしくお願いいたします。

# 第 1 号

1月16日（土曜日）

S2222 五泉市合併10周年記念事業 五泉市子ども市議会会議録 第1号  
平成28年1月16日(土曜日)

議事日程 第1号

平成28年1月16日(土曜日)午後 1時16分開会・開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期日程について
- 第 3 市政一般に関する質問
- 第 4 講評
- 第 5 子ども市議会議長あいさつ

本日の会議に付した事件

日程第 1	会議録署名議員の指名	8
日程第 2	会期日程について	8
日程第 3	市政一般に関する質問	8
	1 番 五泉小学校 田中菜月さん	8
	2 番 五泉南小学校 芹澤柚香さん	10
	3 番 五泉東小学校 大江真由さん	13
	4 番 川東小学校 五十嵐洋樹君	14
	5 番 巢本小学校 大木叶亜君	16
	6 番 橋田小学校 齋藤育さん	18
	7 番 大蒲原小学校 梅田詩音さん	19
	8 番 村松小学校 難波若菜さん	21
	9 番 愛宕小学校 戸井田玲さん	23
	10 番 五泉中学校 落合亮輔君	25
	11 番 五泉北中学校 廣瀬新菜さん	27
	12 番 川東中学校 相良春香さん	29
	13 番 山王中学校 斎藤まるさん	31
	14 番 愛宕中学校 丸山藍花さん	32
日程第 4	講評	35
日程第 5	子ども市議会議長あいさつ	37

出席議員(14名)

- 1 番 五泉小学校 田中菜月さん
- 2 番 五泉南小学校 芹澤柚香さん
- 3 番 五泉東小学校 大江真由さん



4番	川東小学校	五十嵐 洋 樹 君
5番	巢本小学校	大 木 叶 亜 君
6番	橋田小学校	齋 藤 育 さん
7番	大蒲原小学校	梅 田 詩 音 さん
8番	村松小学校	難 波 若 菜 さん
9番	愛宕小学校	戸井田 玲 さん
10番	五泉中学校	落 合 亮 輔 君
11番	五泉北中学校	廣 瀬 新 菜 さん
12番	川東中学校	相 良 春 香 さん
13番	山王中学校	齋 藤 ま る さん
14番	愛宕中学校	丸 山 藍 花 さん

---

欠席議員（なし）

---

地方自治法第121条の規定により、説明のため議場に出席した者。

市 長	伊 藤 勝 美 君	副 市 長	五十嵐 明 君
会計管理者兼 会計課長	西 川 和 明 君	教 育 長	井 上 幸 直 君
総務課長	小 黒 常 樹 君	企画政策課長	落 合 英 昭 君
財政課長	塚 野 剛 樹 君	税 務 課 長	星 野 弘 君
市民課長	湯 浅 善 章 君	環境保全課長	寺 田 亨 君
健康福祉課長	浅 井 隆 子 君	高齢福祉課長	熊 倉 淳 也 君
こども課長	佐久間 謙 一 君	農 林 課 長	佐 藤 豊 君
商工観光課長	瀧 澤 一 之 君	都市整備課長	塚 野 一 也 君
上下水道局長	関 塚 耕 一 君	学校教育課長	杉 山 信 二 君
生涯学習課長	川 村 正 美 君	スポーツ推進課長	鬼 立 利 則 君
図書館長	石 垣 一 幸 君	監査委員事務局長	梁 取 浩 君
農業委員会 事務局長	笹 川 和 則 君	消 防 長	板 垣 良 一 君
消 防 署 長	佐 藤 志 信 君	村松支所長兼 地域振興課長	加 藤 隆 男 君

---

職務のため議場に出席した事務局職員。

局 長	廣 瀬 郁 平 君	主 幹	渡 辺 彰 君
係 長	風 間 恵 理 子 君		

○議長（難波 若菜さん） 開会前に申し上げます。

総務課及び報道機関並びに傍聴の皆さまより、議場内の写真撮影及びビデオ撮影の許可の願いがありましたので、この際これを許可いたします。

以上です。

---

午後 1時16分 開会・開議

○議長（難波 若菜さん） ただいまの出席議員は全員でありますので、五泉市合併10周年記念事業 五泉市子ども市議会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます、村松小学校の難波若菜と申します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

---

### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（難波 若菜さん） 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により、議長指名といたします。

よって、1番、田中菜月さん、2番、芹澤柚香さん、3番、大江真由さんを指名いたします。

---

### 日程第2 会期日程について

○議長（難波 若菜さん） 次に、日程第2、会期日程ですが、会期は本日1日間とし、議事日程についてはお手元に配布の日程表のとおりにしたいと思いますが、ご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（難波 若菜さん） ご異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

---

### 日程第3 市政一般に関する質問

○議長（難波 若菜さん） 次に、日程第3、市政一般に関する質問です。

これより一般質問を行います。はじめにAグループから始めます。

議席番号順に質問を許します。

はじめに議席番号1番、田中菜月さん。

○1番（田中 菜月さん） それでは、五泉小学校6年 田中菜月がご質問します。

テーマは、だれでも行きやすい場所に、です。

私は五泉市の環境について質問します。

私は五泉市が大人も子供も誰もが安全に住みやすい市になってほしいと思っています。だから、みんなが使う公共施設がもっと設備されると良いと思っています。

学校の総合の授業で、栗島公園を誰もが使いやすい場所にするにはどうしたら良いかを考えました。いつもよく遊びに行く公園でしたが、誰もが使いやすいように、と考えながら見てみると、段差のところや遊具のまわりなどいろいろな所に雑草が生えているのが目立ちました。来た人が休む場所があるのは良いのですが、よく動く場所に草が生えていると動きの邪魔になったり、滑ってしまったりして危険です。だから、もっと設備されると良いと思います。

でも、公共施設は私たち市民のものでもあります。私たち市民も積極的に施設の設備に関われるような方法があれば教えてもらいたいと思います。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（難波 若菜さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） それでは田中菜月議員のご質問にお答えいたします。

はじめに栗島公園を誰にでも使いやすい公園にとのご意見であります。

栗島公園は、昭和天皇が天皇陛下になられたことを記念いたしまして、昭和4年に大川前と指柳町内の町内公園として開園した80年以上の歴史のある公園であります。

この公園の名前の由来は、公園の中に栗島神社があったことから栗島公園と名付けられました。（13頁に訂正あり）

栗島公園の中にあります、グラウンドや総合会館、市民プールなどの運動施設は健康づくりやスポーツ大会の会場として多くの方々から利用されています。また、噴水広場や遊具、ベンチなどは、利用する皆さんが休息したり、遊んだりする場として、これらも多くの方から親しまれています。このほかにも、春にはたくさんのきれいな桜の花が咲くことから、多くの方々が春の訪れを楽しむなど、心と体の両方を健康にしてくれる大切な公園であります。

五泉市では、この大切な公園を子どもから高齢者まで、誰もが安心して利用できるように、施設のバリアフリー化をしたり、古くなった施設、遊具などを直しております。

また、公園の草刈りや清掃なども、利用する皆さんがより気持ち良く、安全に公園で過ごせるように気をつけて行っています。

栗島公園を含む公共施設と市民の皆さんとの関わり方についてですが、施設をきれいに使いやすくする活動として、栗島公園周辺の太田川や五泉地域にあります南公園のグリーン作戦などが、市民の皆さんのボランティア活動として行われています。

地域の皆さんの自主的な活動は、地域を良くするためにはとても大切です。そして、私はこのような一つ一つの活動の積み重ねによって、五泉市がより住みやすいまちになっていくものと考えており、これからもこのような活動がさらに広がっていくことを期待しております。

私も、田中議員と同じように、五泉市が大人も子どもも誰もが安全、安心で住みやすい市になってほしいと思っております。

そして、市民のみなさんや市外からお越しになる皆さんが利用する、栗島公園を含め

ました、市内の各公共施設や観光地などが、常にきれいで使いやすい施設であれば、また五泉市に行きたい、五泉市に遊びに行こう、ということになり、多くの人が何度も五泉市を訪れ、人の交流が広がり、地域の商店街などの活性化に繋がるなど、その効果は大変大きなものとなってくると思います。

そのためにも、市といたしましては公共施設や観光地など、人の多く集まる場所が安全で使いやすいように常に気をつけていくことはもちろんですが、それとともに、利用する皆さんから、みんなで使う施設を大切に、来た時よりも美しく使ってもらえるよう、今後も広く呼び掛けてまいります。以上であります。

○議長（難波 若菜さん） 田中議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○1番（田中 菜月さん） 栗島公園にある噴水は、暑い夏に小さな子ども達が水遊びを楽しんだり、涼んだりできて大変喜ばれているので、もっと水の出る時間を長くしてほしいです。

○議長（難波 若菜さん） 塚野都市整備課長。

○都市整備課長（塚野 一也君） 今ほどご質問の栗島公園の噴水についてであります、現在、春から秋にかけて水を流しております。現在ですね、午前10時から11時半くらいまでの1時間半。午後1時から2時までの1時間ということで、合計2時間半ほど水を流しておりますが、人が集まります土日に時間を延ばすなど、公園の利用者にあわせた運転時間の設定を行っていきたくと考えております。

○議長（難波 若菜さん） 田中議員、ただいまの回答内容について再質問はありませんか。

○1番（田中 菜月さん） 先ほどの噴水の件なんです、最近栗島公園に行って、夏に栗島公園に行ってみると、噴水の川が流れているところで自転車に乗って遊んでいたりで、栗島公園の噴水や公共施設などの使い方をもう一度学校の児童たちなどに言ってみたらどうでしょうか。

○議長（難波 若菜さん） 井上教育長。

○教育長（井上 幸直君） 今、田中議員のお話しされましたこと、各小・中学校の校長先生方にお話しをして、各学校で指導していただくということにしたいと思っております。

○議長（難波 若菜さん） 田中議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○1番（田中 菜月さん） ありません。

○議長（難波 若菜さん） 次に、議席番号2番、芹澤柚香さん。

○2番（芹澤 柚香さん） それでは、五泉南小学校6年 芹澤柚香がご質問します。

テーマは、五泉市の観光業の発展です。

五泉市の目立ったイベントは、ひゃんで花火大会やきなせやまつりなどです。それらのイベントは、市外からの観光客はかなり少ないと思います。さらに、イベントが行われる時期は夏を中心としており、冬のイベントはほぼないと言えます。また、本町1丁目にある廃墟やシャッターの閉まった店など景観が悪い場所もあります。

私は、雪を利用したイベントやPR活動を増やし、景観を改善するため、廃墟や空き家などを取り壊して、新しく施設を造って観光客を呼び込めれば、商店街等も観光客でにぎわうと思います。そして、イベントやPR活動に、いずみちゃんや桜タマ吉を登場させれば、キャラクターの知名度も上がるし、観光客の五泉市の印象が強まります。市民もキャラクターと触れ合えるから、キャラクターに対する親しみが生まれると思います。この考えにはかなりお金がかかりますが、市の発展にメリットはかなり多いと思います。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（難波 若菜さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 芹澤柚香議員の五泉市の観光業の発展についてのご質問にお答えいたします。

今、日本に多くの外国人観光客が訪れ、観光をしたり、買い物をしている映像が連日テレビに流れています。そして、国を挙げて観光に力を入れています。それはなぜかという、芹澤議員のおっしゃるとおり、観光というものが、人の交流によるまちの賑わいや、地域の商店などでの買い物や食事などで、その地域に大きな効果をもたらすと思っております。

そして、五泉市におきましても、観光は市の大きな仕事としてこれまでも力を入れて取り組んでまいりました。

五泉市の観光といいますと、まず、春の訪れとともに郷屋地区の21ヘクタールの公園に自生する、約3万株の水芭蕉の開花に始まり、市の木で全国さくら名所100選に選ばれた村松公園に代表される桜や、国の天然記念物に指定されている小山田の彼岸桜樹林。また、一本杉地区のチューリップ畑に色鮮やかに咲く150万本のチューリップ。そして、東公園のぼたん百種展示園に大きな花を咲かせる120品種5,000株のぼたんと、次々と春の花が咲き続ける春の花シリーズには、市内外より毎年20万人を超える皆さんがお越しいただいております。

秋には、公園全体が色とりどりに紅葉する村松公園。一面が黄色に染まる蛭野地区のイチョウの木。また、早出川ダムなどの紅葉スポットも五泉市の見どころの一つであります。

ご質問の冬のイベントでは、1月に地元の酒蔵が酒づくりのために水を汲み出す、寒九の水汲みという行事が菅名岳の山麓で行われ、全国から約300人もの担ぎ手が水を運ぶために集まります。2月に別所地区で行われる、虚空蔵尊のお祭りでは、暗い雪道に雪の灯籠に明かりが灯され、幻のような景色を見るために多くの人が集まります。このお祭りに併せて商店街でも灯籠まつりが行われていますが、最近では、雪の量が少なくなったことから雪の灯籠を作ることができず、ペットボトルを使い灯りが灯されています。

このように、雪を利用したイベントは人気が高く、多くの人たちが訪れます。その一

方で、今年もそうですが、最近の少雪の影響により、雪を使ったイベントを計画しても、雪が積もっていないくてイベントができないということもあり、イベント自体が企画しづらくなっていることもあります。このような状況のなかで、今後、どのようなことができるのかを、いろいろ、皆さんの意見などをお聞きしながら考えていきたいと思っております。

続きまして、商店街に観光客を呼び込むことについてであります。

五泉市の商店街を活性化し、賑わいをもたらすために、商店街に観光客を呼び込むことはとても大切なことだと思っております。五泉市では、毎年、先ほどお話ししました春の花シリーズの期間中に、商店街などでお買い物や食事などをした方々に、抽選で五泉市の特産品が当たるスタンプラリーが行われ、参加する人も増えています。これからも、より楽しくまちを歩き、お買い物や食事をしてもらえるような雰囲気を作っていきます。

シャッターが閉まっているお店や空き家などについてですが、これらは持ち主の財産ですので、市で取り壊すことは大変難しいです。そのため、市では、このような建物で新しくお店を開きたいという方々を応援する取り組みを行うなど、活気のある商店街になるように進めています。

続きまして、五泉市のマスコットキャラクターについてであります。

五泉市では、いずみちゃん、桜タマ吉、サクラーナ、こやすくんと、4体のマスコットキャラクターが市の行事やイベント、テレビでのPR活動に活躍しております。その愛らしい姿は、子どもから大人まで多くの人から親しまれています。

今後も市のイメージアップのため、いろいろな場で活躍してもらいたいと考えております。

芹澤議員のいずれの提案についても、市の発展につながる大切なご提案と考えています。五泉市には豊かな自然やおいしい食べ物、そして、いろいろな分野で活躍する人がいます。今回いただきましたご意見と五泉市の良いところをもとに、これから多くの人を引き付けることのできる魅力あるまちづくりを進め、観光業も含めまして、五泉市の発展につなげていきたいと考えております。以上であります。

○議長（難波 若菜さん） 芹澤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○2番（芹澤 柚香さん） 五泉市の年間の観光客は何名ほどいらっしゃるか教えていただけるとありがたいです。

○議長（難波 若菜さん） 瀧澤商工観光課長。

○商工観光課長（瀧澤 一之君） 年間の観光客の人数についてお答えいたします。平成25年度は65万9,000人、26年度は74万2,000人となっております。

春の花シリーズの水芭蕉、桜、チューリップ、ぼたんの開花状況などは、年によって天候により大きく左右されるということから、年によって観光客の人数が変わっております。以上です。

○議長（難波 若菜さん） 芹澤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○2番（芹澤 柚香さん） ありません。

○議長（難波 若菜さん） 次に、議席番号3番、大江真由さん。

○3番（大江 真由さん） それでは、五泉東小学校6年 大江真由がご質問します。

テーマは、より楽しく学べる学校です。

私は日々の授業を黒板に加え、タブレットで学べる環境にしてほしいと考えます。私が考えるタブレットの利点は二つあります。

一つ目は、黒板と違い文字の制限がないことや、画像や動画を活用できることです。一時間でより楽しく多くの学習ができたり、画像や動画を活用することでより理解が深まったりすると考えます。二つ目は勉強したことが保存できるということです。保存したものを自主学習に生かしたり過去の学習を復習したりできると思います。また、保存したものがあれば再度黒板に書く必要もなく、すぐに画面に出せるので、書いている間の時間も短縮でき、多くの時間学習できると思います。

このように、タブレットで学ぶと一時間で多くの学習ができると共に、楽しく学習ができると思います。そうすれば将来、五泉市の教育レベルが上がり有望な人材が増え、五泉市の発展につながると思います。この考えが採用され、楽しく学べる学校になってほしいです。

○議長（難波 若菜さん） 井上教育長。

○教育長（井上 幸直君） 大江真由議員のご質問にお答えいたします。

タブレットで学べる環境づくりについてです。

現在、各学校のコンピューター室にデスクトップ型のパソコンを配置して、皆さんからパソコンの使い方の勉強やデザイン画の作成、また、さまざまな授業での調べものやクラブ活動などに活用していただいています。

しかし、最近ではノートパソコンやタブレットなど、手軽に持ち運びができて、どこにいてもインターネットを利用することができる時代になってきました。

大江議員がご提案のとおり、タブレットを使った学習をすると良いことがたくさんあります。例えば、理科の授業では、実験方法や実験の内容を画像や動画で見ることができるので学習がわかりやすくなること。多くのデータを保存したり、それをすぐに活用したり、わかりやすく整理したりすることができるので、楽しみながら学習に取り組むことができることなどがあげられると思います。

皆さんが楽しく勉強に取り組めれば、今よりもさらに学習への意欲がわいて、一人一人の能力も高まっていくと思いますし、それが、将来にわたって五泉市のためにもなっていくものと思います。

そのような多くの良い効果が期待できると思い、いま五泉市では、各学校でタブレットを使った学習ができるよう準備を進めています。そして、いずれ皆さんがタブレットを使った学習ができるようにしていきたいと考えています。

しかし、皆さんにタブレットを持ってもらうには、何百台ものタブレットを買わなけ

ればいけません、一度に買うことは多くのお金が必要です。このタブレットを買うお金は、市民の皆さんからいただいている税金で買うことになります。

市民の皆さんに大きな負担を一度にかけないように、少しずつ準備を進め、児童・生徒の皆さんの学習環境がより良いものとなるようにしていきたいと考えています。

○議長（難波 若菜さん） 大江議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○3番（大江 真由さん） 現在五泉市の学校では、授業を楽しく行うために工夫していることなどありますか。

○議長（難波 若菜さん） 井上教育長。

○教育長（井上 幸直君） 市内の小・中学校、すべて全部で14ヵ校あるわけですが、現在も、大江議員の提案がありましたように、タブレットを使って学習をしている学校もいくつかあります。その、タブレットを使っている学校では、タブレットをどのように取り入れたら学習の効果が上がるのかということの研究するために、今、試しにタブレットを使っているという状況であります。例えば、国語や英語の授業でスピーチの様子を動画で撮影し、声の大きさや姿勢のチェックに活用したり、理科の学習ではインターネットを通して班ごとに調べる学習を行ったりしています。また、体育の授業で動画を撮影し、自分や友達の良かったところ、悪かったところを話し合うなど、工夫をこらした授業を行っています。

大江議員がお話しされているように、タブレットを使った学習はいろんなことが考えられますが、今後みなさんがタブレットを使った学習ができるだけ早くできるように計画的に準備を進めていきたいと考えています。

○議長（難波 若菜さん） 大江議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○3番（大江 真由さん） ありません。

○議長（難波 若菜さん） 次に、議席番号4番、五十嵐洋樹君。

○4番（五十嵐 洋樹君） それでは、川東小学校6年 五十嵐洋樹がご質問します。

テーマは、安心安全な五泉市へ、です。

ぼくには、これからもっと安心安全な五泉市にするために大切だと考えていることが二つあります。

一つ目は街灯についてです。ぼくの地域は、街灯が少なく中学生は、暗い道を自転車で下校しています。自転車にはライトがついていますが、周りがまっ暗で怖いそうです。ここで市長に質問です。街灯がない地域を調べて早く街灯をつけてもらえないでしょうか。街灯があると、犯罪を減らすこともできると思います。

二つ目の質問です。古くなったビルがそのまま放置されているのはなぜですか。五泉市の街には、廃墟になったビルが幾つかあります。それがあつて五泉の街が物騒に感じていました。そこをリフォームして子どもからお年寄りまで自由に利用できる施設に造りかえてはどうでしょうか。雨や雪でも、小さい子は遊具、ぼくたちはボールが使える広いコートがあつたらとてもうれしいです。さらに、大人やお年寄りが気軽に立ち



寄れるスペースがあればいいです。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（難波 若菜さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 五十嵐洋樹議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、五十嵐議員がおっしゃっている街灯とは、市では防犯灯と呼んでおりますので、防犯灯の設置についてお答えいたします。

暗くて人や自転車などの通行に支障となる場所や防犯に不安のある場所には防犯灯というものが設置されております。この防犯灯は、夜の暗いところで様々な犯罪を防ぐ効果や、人や自転車が安全に道路を通行できるなど、その効果は大変大きいことは、皆さんもご承知と思います。この防犯灯の設置や修理について、五泉市では集落内は町内会で行っており、集落と集落の間を市が行っています。

なお、市が設置する防犯灯については、通学路を優先に順番に設置しています。

また、町内に設置されている防犯灯については、電気代などを市が支払っており、設置や修理を町内会にお願いしています。

五十嵐議員がおっしゃるとおり、通学時に暗い道を通るのは皆さんも大変不安だと思えます。そのため、防犯灯は市内の各地域から多くの設置の要望をいただいています。しかし、要望が多いことに加えて、防犯灯として取り付けている電球は、LEDという電気代が節約でき長く使えるものですが、少し高価なものでありますので、要望をいただいたところすべてに、すぐに設置することができないという面もあります。

そのようなことから、今後も、防犯灯の設置や修理については、町内会と協力しながら、計画的に設置し、児童・生徒の皆さんはもちろん、利用される方々が不安なく、安心できるようにしていきたいと思えます。

続きまして、街中にある使われなくなった古いビルについてのご質問であります。

街の中心部に空きビルが存在しているということは、見た目や防犯の面においても心配な点があると思っております。古いビルを子どもからお年寄りまで自由に利用できる施設にリフォームしては、とのご提案ですが、古くなったビルとはいえ、建物自体は個人の持ち物であります。持ち主から許可をもらったり、古いビルなので地震などに建物が耐えられるのかなど、難しい問題が多いものと考えております。

また、もう一つのご提案として、雨天でも遊べる遊具や高齢者が気軽に立ち寄れるスペースを造ってはどうか、とのご意見については、市民の皆さんの意見や要望などをお聞きしたうえで、利用しやすい場所なども考えながら計画を進めたいと考えております。

五十嵐議員のご質問のテーマであります、安全・安心な五泉市をつくることは、住みやすいまちにするためにはとても重要なことだと思えますし、これまでも重点的に力を入れて取り組んできたところであります。子どもたちから高齢者まで、さらに安心して過ごすことのできるような五泉市になるよう、まちづくりを進めていきたいと思っております。以上であります。

○議長（難波 若菜さん） 五十嵐議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○4番（五十嵐 洋樹君） 五泉市内には、防犯灯はいくつありますか。

○議長（難波 若菜さん） 小黒総務課長。

○総務課長（小黒 常樹君） 五泉市内に防犯灯がいくつありますかという、五十嵐議員のご質問にお答えいたします。

五泉市内では、8,408の防犯灯が設置されております。そのうち、町内会が管理されている防犯灯が6,853灯であります。以上です。

○議長（難波 若菜さん） 五十嵐議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○4番（五十嵐 洋樹君） ありません。

○議長（難波 若菜さん） 次に、議席番号5番、大木叶亜君。

○5番（大木 叶亜君） それでは、巢本小学校6年 大木叶亜がご質問します。

テーマは、スポーツの盛んな五泉市です。

五泉市を、もっとスポーツの盛んな街にしたい。これが、ぼくの願いです。

五泉市は、チューリップや里いもなど、花や農作物で有名ですが、スポーツの面でも、有名な街になってほしいです。

ぼくは、今、野球部に入っています。五泉市には、広い総合会館や野球場、陸上競技場など、スポーツのできる施設がいくつかありますが、ぼくの住んでいる巢本地区には、このような施設はありません。このような地区は、他にもあると思います。市の中心部だけでなく身近なところにも、スポーツができる環境を増やせば、子どもがスポーツを始めるきっかけになると思います。

スポーツをすると、心にも体にも良いことがたくさんあります。子どもからお年寄りまで、気軽にスポーツに親しむことができる、スポーツが盛んな五泉市にするために、市長さんはどんなことができるか、お考えをお聞かせください。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（難波 若菜さん） 井上教育長。

○教育長（井上 幸直君） 大木叶亜議員のスポーツの盛んな五泉市とのご質問にお答えいたします。

大木議員のおっしゃるとおり、スポーツをすると身体が健康になり、心も爽快な気持ちになり、また、スポーツをしている友達同士のつながりもできるなど、生活をしていくうえでとても大きな効果をもたらす大切なことと認識しております。

このようなことから、五泉市では、子どもからお年寄りまで、誰もが、いつでも、どこでも気軽に参加できる、スポーツやレクリエーション活動を行う機会の提供や、それを行う施設の整備などを行っています。

総合会館やさくらアリーナ、野球場、陸上競技場、プール、テニスコートなどの施設

を利用して、友達やサークル、部活動などの個人や団体にスポーツを楽しんだり、野球やバスケットボール、卓球など、様々な種目で行われるスポーツレクリエーション大会などを開催して、市民の皆さんに気軽にスポーツに親しんでもらえるように、施設の管理や貸し出しを行っています。

また、住んでいる場所の近くに市のスポーツ施設がない地区や、もっと身近でスポーツを楽しみたいという市民の皆さんのために、小・中学校の体育館やグラウンドなどを開放して、スポーツに親しんでもらえる環境を増やしており、皆さんからもこれらの施設などを利用していただきたいと考えています。

あまり運動をすることがない市民の皆さんには、気軽に運動を楽しんでもらえるよう、スポーツなどを通じた健康づくりと、人と人との交流の場をつくるために、平成26年度にできました、スポーツクラブヴィガと協力して、ほぼ毎日スポーツ教室などを開催しております。

大木議員のご意見のとおり、一人でも多くの市民の皆さんが気軽にスポーツを楽しみ、心も身体も健康になることは、市にとってもとても大切なことだと思っています。

皆さんもご承知のとおり、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、ここを大きな目標に多くの選手が頑張っています。五泉市も外国から訪れるチームが大会前に事前に合宿する場所には選ばれるように手続きを進めています。

過去に五泉市からは加藤澤男さんが3度オリンピックに出場し、体操競技で8個の金メダルを獲得しています。

また、昨年は山王中学校の横田俊吾さんが、ジュニアオリンピック陸上競技大会で全国の強豪を相手に優勝するという快挙を遂げました。

このほかにも、多くの皆さんが様々なスポーツで全国や世界を舞台に活躍しています。

私は、将来五泉市からオリンピック選手が誕生することを期待していますので、皆さんも世界を目指して頑張っていたいただきたいと思います。

- 議長（難波 若菜さん） 大木議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。
- 5番（大木 叶亜君） 秋から冬にかけて日暮れが早くなることがあります。外で行うスポーツは野球やサッカー、テニスなど、暗くなる時もスポーツができるようにライトなどをつけてほしいです。
- 議長（難波 若菜さん） 鬼立スポーツ推進課長。
- スポーツ推進課長（鬼立 利則君） 大木議員のご質問ですが、ナイター設備の設置ということではありますが、これからいろいろと経費もかかることから、十分検討していきたいというふうに考えます。
- 議長（難波 若菜さん） 大木議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。
- 5番（大木 叶亜君） ありません。
- 議長（難波 若菜さん） 以上で、Aグループ5人の市政一般に関する質問が終わりましたので、暫時休憩いたします。

午後 1時53分 休憩

午後 2時06分 再開

〔議長が交代し丸山議長が議長席に着く〕

○議長（丸山 藍花さん） それでは、再開いたします。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます、愛宕中学校の丸山藍花と申します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

当局より訂正の申し出がありますので、発言を許します。伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 大変恐縮でございます。田中菜月議員さんのご質問の中にですね、答弁の中に、栗島公園の公園の名前の由来を申し上げました。公園の中に栗島神社があったというご答弁をさせていただきましたが、公園の公道というか、道路予定地に神社がありまして、そのために栗島公園とついたということでありまして、公園の中にあつた神社ではないと、訂正させていただきます、お詫び申し上げます。

○議長（丸山 藍花さん） それでは、休憩前に引き続きましてBグループの市政一般に関する質問を行います。

はじめに、議席番号6番、齋藤育さん。

○6番（齋藤 育さん） それでは、橋田小学校6年 齋藤育がご質問します。

テーマは、みんなが安心して暮らせる五泉市にするには、です。

私はこれからの五泉市について質問があります。私は防犯の振り込め詐欺について考えてみました。今、五泉市は振り込め詐欺が増えています。オレオレ詐欺や実名をかたった電話や架空請求詐欺など、いろいろな手法でお金をだましとっています。まずはそのお金をだましとっている人に注意するのではなく、だましとられている被害者に注意を呼びかける事が一番最初にとる行動だと思います。注意を呼びかける事で、常に気をつけないといけないなという思いが市民1人1人に生まれ、ひっかかる人も少なくなるのではないのでしょうか。

でも今のままだと、呼びかけが足りないと思います。防災無線で詐欺についての放送をしていますが、減っていないのが現実です。防災無線の呼びかけ回数を増やすなど、今まで以上に詐欺について考え、被害のでない安全な五泉市にしてもらいたいです。

市長さんお答えよろしくお願いいたします。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（丸山 藍花さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） それでは、齋藤育議員のみんなが安心して暮らせる五泉市にするには、とのご質問にお答えいたします。

この数年、高齢者を中心に身内などの名前を語り、多額のお金をだましとる振り込め詐欺という悪質な犯罪が大きな問題となっております。

そのため、五泉市では振り込め詐欺の被害防止のために、五泉警察署と協力して、市

の広報や防災行政無線、あんしんメールにより詐欺に遭わないよう注意を呼び掛けています。27年度には防災行政無線を使い、呼び掛けた回数は8件、13回でありました。

あんしんメールは、このメールを利用するために登録した人達の携帯電話やパソコンへ、防災行政無線で呼び掛けた内容をお知らせするもので、昨年1月からサービスを開始しました。今は、約1,700人の方々が登録して、利用していただいております。

また、交通安全と犯罪に遭わないことを市民にPRすることを目的に、五泉警察署と共同であんぜん・あんしん大会を毎年開催し、振り込め詐欺に遭わないよう注意を呼び掛けています。

齋藤議員が言われるように、皆さんがこれまで大変な思いをして貯めたお金や財産を、だまし取るということは決して許されるものではなく、絶対になくしていかなければならない犯罪だと思っております。この犯罪をなくしていくには、自分自身が注意することはもちろんですが、自分の家族を含む身の回りの人に、異変がないか、日頃から気配りで見守りをしていくことが大切だと思います。

五泉市といたしましては、今後も五泉警察署などと協力しながら、防災行政無線やあんしんメールを利用して、被害に遭わないよう注意を呼び掛けていきますので、皆さんもご協力をお願いいたします。以上であります。

○議長（丸山 藍花さん） 齋藤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○6番（齋藤 育さん） 昨年起きた五泉市内での振り込め詐欺の被害件数と被害額を教えてください。

○議長（丸山 藍花さん） 小黒総務課長。

○総務課長（小黒 常樹君） 昨年の特殊詐欺の被害件数と被害額ということでお尋ねでありますので、お答えいたします。参考までに、平成25年は5件で3,050万円の被害がありました。昨年度、平成26年は3件で300万円、今年、27年度入りまして、11月末までは、4件で約486万円の被害が発生しております。皆さんからも、ぜひ家庭や地域の皆さんに詐欺に遭わないよう呼びかけていただけたらありがたいと思っております。以上です。

○議長（丸山 藍花さん） 齋藤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○6番（齋藤 育さん） ありません。

○議長（丸山 藍花さん） 次に、議席番号7番、梅田詩音さん。

○7番（梅田 詩音さん） それでは、大蒲原小学校6年 梅田詩音がご質問します。

テーマは、五泉市の農業についてです。

五泉市は桜やチューリップなど、美しい花々に囲まれた、自然豊かなまちです。また、農業も盛んで、さといもや栗、キウイフルーツなどが特産品です。わたしは五泉市の食べ物が大好きです。これからも豊かな自然の中で、五泉市の農業がますます発展してほしいと思います。

そこで質問です。五泉市の農業をますます盛んにしていくためには、今の農業を継ぐ

人が必要だと思えます。農業を継ぐ人を増やすために、五泉市としてどのようなイベントや活動をしていますか。そしてどのような効果がありましたか。

特に何もしていない場合は、五泉市としてこれからどのような活動をしていきたいのかを教えてください。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（丸山 藍花さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） それでは梅田詩音議員の五泉市の農業についてのご質問にお答えいたします。

昨年10月に、テレビのニュースでTPPという言葉が大きく報道いたしました。皆さんもこの言葉をどこかで聞いたことがあるかもしれませんが、これは太平洋を取り巻く国々で、いろいろなものを輸出や輸入する時に、税金をなくしたり少なくして、貿易がしやすいようにしようという話し合いが行われたということが報道されたものです。この話し合いにより、これらの国々の間で貿易が活発になるということで良い面もあると言われていますが、その一方では、外国の安い農産物が日本に輸入されると、価格の面でかなわなくなり、日本の農産物が今よりも売れなくなってしまい、農業を行っている皆さんの生活に大きな影響がでるのではないかと心配されています。

梅田議員がおっしゃるとおり、五泉市は昔から農業がとても盛んで、市においても大変重要な産業であり、この地域の中心的な役割をもって意欲的に農業に取り組んでいる農家の方が多くおられます。しかし、最近では外国の文化が日本にも影響を及ぼし、特に食文化の変化からお米の消費量が減って、お米の価格が低くなったことなどにより、農業で生活していくことが厳しくなり、後を継ぐ人がいなくて農業をやめてしまう方もいます。

昨年12月に発表されました統計では、五泉市で農業を行っている人は2,865人で、5年前に比べますと、874人少なくなっています。また、年齢的にも59歳以下では23.9%であり、60歳以上は76.1%と、農家の高齢化がますます進んでいます。これは、全国的にも同じ傾向になっております。

農家が減って農業を継ぐ人がいない、農地が荒れてしまうのではないかと心配もあります。市では、農業に親しんでもらうための取り組みとして、10月の第2日曜日をさといもの日と決め、この日にさといもまつりを開催したり、11月には農業まつりを行うなどの様々なイベントを開催しています。これには、毎年市内外から多くの方々からお越しいただき、五泉産の新鮮な野菜などを購入していただいております。五泉の特産物を皆さんに知ってもらうためにも、とても大きなイベントになっております。

また、新しく農業を始めた人や農業を行っている人でも農地の面積を増やしたいという農家の皆さんには農地が集まるよう、お金を交付して支援をしています。

このほかにも、五泉市には、農業を営む一定の条件を満たして認められた農業者の会があり、その会が行う農業についての勉強会や農業者同士の交流会に対しても支援をし

ています。

梅田議員がおっしゃるとおり、私も五泉市の重要な産業であります農業がさらに発展してほしいと思っています。そして、全国の皆さんから、ぜひ五泉市の新鮮でおいしいお米や野菜を食べてもらいたいと考えております。そのためには、農業を継ぐ人を増やすことはとても大事なことです。しかしその課題はすぐに解決できることではありません。

五泉市といたしましては、これからも新潟県や農業協同組合と協力し、農業を行う人が多くなるよう、そして、おいしいお米や野菜の生産により五泉市の農業がさらに発展するよう努めてまいります。以上であります。

○議長（丸山 藍花さん） 梅田議員、ただいまの回答内容について再度質問はありますか。

○7番（梅田 詩音さん） お米の消費量が減り値段が安くなっているとのことですが、どれくらい減ったり、安くなっているのですか。

○議長（丸山 藍花さん） 佐藤農林課長。

○農林課長（佐藤 豊君） お米のですね、1年に1人当たりが食べる量であります。一番多い時で昭和37年度、これ私が生まれた年なんですありますが、その後ずっと減り続けております。その37年度にはですね、118kg、1人当たり、食べてました。ただ平成25年度には、約その半分の57kgまで減ってしまっております。それから、お米の値段でありますけれども、60kg当たり、1俵という言葉よく聞いたことあるかと思いますが、60kg当たりで、全国平均での値段であります。平成5年には約2万3,000円したものがですね、平成26年には約1万2,000円台まで落ちております。簡単に言いますと、半分近い値段になってしまっているというようなことであります。以上であります。

○議長（丸山 藍花さん） 梅田議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○7番（梅田 詩音さん） ありません。

○議長（丸山 藍花さん） 次に、議席番号8番、難波若菜さん。

○8番（難波 若菜さん） それでは、村松小学校6年 難波若菜がご質問します。

テーマは、いつでも安全で交通が便利なまちです。

私の住んでいる地域には消雪パイプがありません。そのため、冬の通学がとても危険で困難です。私達だけでなく、地域のお年寄りの方々もとても困っています。安全に登下校するため、そして地域の皆さんのためにもぜひ、消雪パイプをつけて安全な暮らしにしてください。

そして、私の住んでいる地域には、街へ行く交通手段がありません。そのため、土曜日、日曜日などに、家族のだれかが休みでないと友達と遊べなかったり、街へ行くことができません。私だけでなく、街へ行くことができない、地域の皆さんも困っています。そのため、街へ行く交通手段がほしいです。例えば、五泉市内を走っているふれあいバスの範囲を、私が住んでいる地域まで走らせたらかどうかと考えました。ぜひ、街へ行く

交通手段を検討してください。

私が提案した二つの事を実現し、だれもが住みやすい街にしてください。

以上で壇上からのご質問を終わります。

**○議長（丸山 藍花さん）** 伊藤市長。

**○市長（伊藤 勝美君）** それでは難波若菜議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、消雪パイプの設置についてであります。五泉市は機械による道路除雪を約 425 km 行っております。また、消雪パイプの整備された道路は約 52 km です。

消雪パイプの整備は、昭和 36 年に長岡市が全国で初めて行い、その後、雪の多い地域に広まっていきました。五泉市は消雪パイプを昭和 53 年から整備を進め、村松地域の中心部など機械によって除雪をすることが難しい場所は、ほぼ終わりました。しかし、整備を始めてから 30 年以上たった井戸やパイプなどは、古くなって水が出にくくなっているため、順番に整備をしております。また、五泉地域では、街の中心部の西側の方、今年吉沢、太田、駅前のあたりですが、このあたりから順番に整備を進めています。

難波議員が住んでいる地区に、消雪パイプをつけてほしいとのご要望ですが、五泉市では冬の間道路の確保は、機械による除雪を主体として行っております。市としましても、地域の方が安全で安心して通学・通勤できるよう、雪の降る状況などを良く見ながら、これからも除雪を行ってまいります。

続きまして、交通手段に関する質問にお答えいたします。

はじめに、公共交通機関については、以前は蒲原鉄道の電車が村松地区を中心に五泉や隣の加茂市へ運行していましたが、路線バスもいくつかの路線で運行されていました。

しかし、難波議員のおうちもそうだと思いますが、多くの家庭で自家用車を持つようになりました。その結果、だんだんと電車やバスを利用しないようになり、多くの路線が廃止されました。

多くの家庭で自家用車により自由に外出できるようになりましたが、その一方で、高齢者や子どもなど、運転ができる家族に乗せてもらわなければならない人たちは、その家族の都合に合わせる必要があり、場合によっては不便な状況となりました。

この不便な状況を解消するため、五泉市では、ふれあいバスと乗合タクシーのさくら号を運行しています。そのうえで、ふれあいバスは、五泉エリアと村松エリアのそれぞれの市街地を結ぶ路線であるため、難波議員の住んでいる地区まで走らせることはできませんが、乗合タクシーのさくら号は、市街地や友達の家までの交通手段として利用いただけるものと思います。日曜日、祝日やお盆、年末年始の期間は運休となりますが、村松エリアの中であれば、小学生は 1 回あたり 150 円で利用でき、家の前まで送迎してくれる大変便利な交通手段でありますので、事前予約をしていただいたうえで、ぜひ、地域の皆さんからご利用いただきたいと思います。以上であります。

**○議長（丸山 藍花さん）** 難波議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

**○8 番（難波 若菜さん）** どのくらい雪が積もれば除雪作業をしているのか教えてください。



さい。

○議長（丸山 藍花さん） 塚野都市整備課長。

○都市整備課長（塚野 一也君） 今ほどの、どれくらいで除雪作業というご質問にお答えいたします。道路の除雪につきましては、10cm以上、あるいは10cm以上積もりそうなときに除雪作業を行います。朝2時半から始め、皆さんが通学する前に完了したいと考えておりますが、雪の降る状況により若干遅くなることもありますので、ご理解をお願いしたいと思います。また、除雪作業につきましては、周りを確認しながら行っておるところであります。皆さんも近くを通るときには注意してくださるようお願いいたします。以上でございます。

○議長（丸山 藍花さん） 難波議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○8番（難波 若菜さん） ありません。

○議長（丸山 藍花さん） 次に、議席番号9番、戸井田玲さん。

○9番（戸井田 玲さん） それでは、愛宕小学校6年 戸井田玲がご質問します。

テーマは、もっときれいな五泉市へ、です。

私が今五泉市でよいと思うところは、自然が豊かなところです。村松公園などでは桜がたくさん咲いています。毎年桜を見るのが私の楽しみです。しかし、私は公園や市をきれいにするためのごみ拾いの活動に参加したことがありません。テレビなどでは見たことはありますが、実際に私の生活の中でごみ拾いの活動をしている人は見たことがありません。

これから、もっともっときれいな五泉市になるように、自分たちで何かをしなければならぬと思いました。市や学校などでこのような行事を増やしていければうれしいです。そして私自身がごみをポイ捨てしないようにすれば五泉市がきれいになるし、五泉市民一人一人が同じ気持ちでいればもっときれいになると思いました。

そこで質問です。五泉市では、ごみ拾いの活動はどのくらい行っていましたか。また、行う予定はありますか、私も参加したいです。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（丸山 藍花さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 戸井田玲議員のもっときれいな五泉市へ、とのご質問にお答えいたします。

五泉市では、4月と10月の第3日曜日に、各町内会の協力を得て、市内の道路や側溝などに投げ捨てられた空き缶や空き瓶などを拾って集める、市内一斉の「クリーン運動」を行っています。また、五泉市がきれいに住みやすいまちになるように、清掃活動などを行っています五泉市公衆衛生協会が、春と秋に市民の皆さんを集めて「ごみゼロクリーン運動」ということで、ごみ拾いのボランティア活動を行っています。ちなみに、春の「ごみゼロクリーン運動」は3月24日に行うこととしていますので、ぜひ参加してみてください。

市内の小・中学校で行っているごみ拾いの行事としましては、愛宕中学校で4月の桜の頃に村松公園清掃ボランティアとして、全校生徒によるごみ拾いや、5月にはふるさとウォークとして、村松地区の歴史や自然を見て歩きながら、ごみ拾いを行う活動をしています。また、7月末に五泉中学校で、また9月末には巢本小学校が、それぞれ早出川クリーン作戦を五泉市公衆衛生協会と協力して行っております。

ごみ拾い活動のほかにも、ごみのことを良く知ってもらうための取り組みとして、町内会やいろんな集まりに出向いて、ごみを分別することがいかに大切か、また、ごみの分別を簡単にできる方法、そして、家庭などから出されたごみなどがどのように処理されているのかを知ってもらう勉強会を開催したり、ごみの処分施設まで見学に行ったりして、学習してもらう活動も行っております。

今申し上げたことが、市が直接関わっている主なごみ拾いの活動ですが、その他にも、いろいろな団体や会社が自主的にごみ拾いの活動を行っており、集めたごみを運んだりすることなどを市が協力することもあります。

戸井田議員が言われたとおり、ごみをポイ捨てしないという気持ちを一人一人持つことは、本当に大切なことだと思います。一人一人の強い思いがみんなの思いという大きな輪になります。そして、五泉市全体にその気持ちが伝われば、きっと五泉市はきれいなまちになるとともに、五泉市に住む人も来る人も、とても気持ちよく過ごせるまちになると思います。

きれいな五泉市になるよう、これからもごみ拾いの活動やその活動の応援、そして皆さんにそれらの活動を伝え続けていきたいと考えていますので、皆さんからもご協力をお願いいたします。以上であります。

**○議長（丸山 藍花さん）** 戸井田議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

**○9番（戸井田 玲さん）** ごみ拾いの活動を行っているということですが、どのようにして呼びかけていますか。

**○議長（丸山 藍花さん）** 寺田環境保全課長。

**○環境保全課長（寺田 亨君）** 先ほどもご紹介をいたしました。公衆衛生協会が主に中心となって行っている活動等につきましては、市民の皆さまに、広報等を通してお伝えをしております。また、学校、町内など、会社などを通じて行う活動につきましては、それぞれまた、学校、町内等でお知らせをしているところでございます。よろしくお願いたします。

**○議長（丸山 藍花さん）** 戸井田議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

**○9番（戸井田 玲さん）** ありません。

**○議長（丸山 藍花さん）** 以上で、Bグループ4人の市政一般に関する質問が終わりましたので暫時休憩いたします。

午後 2時33分 休憩

午後 2時44分 再開

〔議長が交代し田中議長が議長席に着く〕

○議長（田中 菜月さん） 再開いたします。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます、五泉小学校の田中菜月と申します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、休憩前に引き続きましてCグループの市政一般に関する質問を行います。

はじめに、議席番号10番、落合亮輔君。

○10番（落合 亮輔君） それでは、五泉中学校2年 落合亮輔がご質問します。

テーマは、人と笑顔で賑わう便利なまちです。

僕は最近、五泉市の人口がどんどん減っているという話を聞きました。それは、小・中学校のクラス数の減少や学校の統合、後継ぎがいなくて、使われなくなったお店や建物の増加などから見ても、明らかでした。

五泉市だけではなく、他の市町村でも、東京などの大都市に人口が集中し、過疎が進んできています。大都市の方が便利で、働く場があるからです。なので、五泉市も住むのに便利なまちにすれば、人が来てくれるのではないかと思います。

では、具体的にどのようにして、五泉市を便利にするか、提案させていただきます。

現在、五泉市には工業団地を除いて、使われていない建物が何ヶ所もあると思います。実際、街を歩いていると、誰も使っていない土地や建物を見かけます。これらを利用して、企業、ショッピングモール、病院、できれば大学や研究機関を呼び込めれば、仕事も増え、便利なまちになると思いました。

ただ、建物の取りこわしや、建築、リフォームには、多額の費用が必要になります。ふるさと納税をうまく活用したり、これとは別の寄附を募集できないでしょうか。また、これと同じ要領で、市営住宅なども建てることができれば、五泉市に定住してくれる人が増え、人口の増加につながると思います。

しかし、あまり便利さを追求すると、花や山、川などの五泉の豊かな自然が破壊されてしまう可能性があります。今ある資源を大切にし、利便性と自然環境を整えば、人と笑顔で賑わう、大都市以上に住みやすいまちになると思います。

以上が僕の考えですが、実現が可能かどうか、詳しく教えていただけたら嬉しいです。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） それでは、落合亮輔議員のご質問にお答えいたします。

人口減少対策として、人と笑顔が増える便利なまちにすべきとのご提案です。

はじめに、五泉市の人口については、合併した平成18年、2006年1月の時点で、約人口は5万8,000人でしたが、現在では、約5万3,000人を割りました。この10年間で

6,000人近い減少となっています。これは、1年間に生まれる子どもの人数が約300人であることに對しまして、亡くなる人が約800人となることで、年間約500人ずつ減少した結果です。

また、人口の減少はさらに加速して、今から44年後の平成72年、2060年には、現在の半分である約2万6,000人になると予測されております。

このように、人口の減少が進むと地域の活力がどんどん低下して、さらに働く場がなくなる、住む人が減る、生まれてくる子どもたちも減るといった悪循環となって、五泉市として存在すること自体が困難になることが考えられます。

そのような状況に陥らないために、市では昨年、総合戦略という計画を作りました。

この総合戦略では、五泉市の人口をできるだけ減らさないために4つの基本目標を掲げて取り組むことにしています。

その1つ目の目標は、未来世代を守り育てるとして、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・出産・子育ての支援を行います。2つ目の目標は、産業の活力を高めるとして、五泉市の重要な産業であるニットと農業を中心にイメージを向上させて販売先の拡大を図り、また、安定した働き場を創ります。3つ目の目標は、五泉の魅力をつなげるとして、五泉市の魅力を情報発信するとともに、その魅力を活用して地域や人との交流や移住、定住を進めます。4つ目の目標は、確かな暮らしを充たすとして、町内会や地域の皆さんと一緒に、災害を防ぐ対策や地域の問題解決に取り組むことで、誰もが安全で安心して暮らせる地域をつくります。

この4つの目標に基づいて、様々な仕事に取り組むこととしていますが、その中には、落合議員も提案されている、使われていない土地や空き家などを活用して、お店や会社をつくる人や、移住して新たに農業を始める人への支援、五泉市の資源や地域性を活かした企業誘致なども含まれています。

また、人口増加策の一つとして、市営住宅の整備も有効な方法と考えています。住宅のリフォーム費用や市営住宅を含む建設費用に、ふるさと納税の活用や新たな寄附の募集も良い考えだと思います。

もう一つのご提案の大学や研究機関などの誘致は、全国的に少子化が進んでいる中で大変難しいものと考えております。なお、五泉市では、以前から村松地区に新潟大学農学部の教育と研究のための施設がありますので、農家、会社などと一緒に特産品づくりなどに取り組むこととしています。

また、大学そのものは難しいとしても、大学などの部活動やサークル活動の合宿場所として来ていただくことは、五泉市の活性化につながる取り組みですので、積極的な働きかけを行います。

落合議員のお考えのとおり、利便性を考えながら、五泉市の魅力の一つである自然環境の保全にも十分配慮して、多くの人たちが笑顔で、いきいきと過ごせるまちづくりを進めていきます。

そして、未来の五泉市の中核となる中学生、小学生の皆さんからもアイデアをいただきながら、住んでよかった、住みたいまち五泉、の実現に向けて取り組んでまいります。以上であります。

○議長（田中 菜月さん） 落合議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○10番（落合 亮輔君） 今の市長の回答の中に、市営住宅などという言葉はあったんですけど、今、市営住宅などをもう少し、五泉市のいいところみたいな感じで、全面にぐいぐい出していけると、たぶんいいと思います。

○議長（田中 菜月さん） 暫時休憩します。

午後 2時53分 休憩

---

午後 2時54分 再開

○議長（田中 菜月さん） 再開します。塚野都市整備課長。

○都市整備課長（塚野 一也君） 今ほどの市営住宅についてでございます。まず市営住宅であります、245戸、市のほうで管理をしております。ご提案でございますが、老朽化している住宅もございますので、今後住宅についても、これから取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（田中 菜月さん） 落合議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○10番（落合 亮輔君） ありません。

○議長（田中 菜月さん） 次に、議席番号11番、廣瀬新菜さん。

○11番（廣瀬 新菜さん） それでは、五泉北中学校2年 廣瀬新菜がご質問します。テーマは、交通についてです。

今現在、私が住んでいる橋田地区は、路線バスが廃止され、バスが走っていません。車の免許証を持たない方や、学生、高齢者の方が駅やスーパーへ行くのに、不便を感じていると思います。

例えば、私たち学生が市外の学校へ通う際には、自転車や徒歩で駅まで行きます。ですが、雨や雪が降った日など悪天候の日は家族から送迎してもらわなくてははいけません。

そこで、路線バスが廃止になった地域にも代替えの交通手段を考えていただけないでしょうか。それによって、最初に述べた方が通勤、通学、通院する際により便利になり、より住みやすい五泉市になると思います。より良い五泉市にするためにも、一度検討していただけないでしょうか。

私から一つ要望があります。

現在五泉市で行われている工事についての情報がホームページなどに記載されていません。そのため、車を運転する人にとって今の状態は不便に感じると思います。

そこで、五泉市のホームページなどに現在行われている工事の情報を記載してほしいです。それによって、車を運転する人たちがより便利になると思います。また、工事現場の場所がわかることによって、そこを通る際は注意してください、などの注意喚起が

できると思います。それによってより安全になると思います。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 廣瀬新菜議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、代替えの交通手段に関するご質問です。

路線バスは、以前は大勢の乗客が利用していましたが、現在では多くの家庭が自家用車を所有するようになったこと、また、人口そのものが減少したことなどで利用者が減り、その結果多くの路線が廃止されました。

そのようなことから、自家用車で自由に外出できるようになった反面、免許を持たないお年寄りや子どもなどは、運転ができる家族の都合に合わせる必要があるので、場合によっては不便な状況となりました。

五泉市では、このような不便な状況を解消するため、路線バスに代わって、ふれあいバスと乗合タクシーのさくら号を運行しています。

ふれあいバスは、五泉エリアと村松エリアのそれぞれの市街地を結ぶ路線であるため、橋田地区で運行することはできませんが、乗合タクシーのさくら号は、代替えの交通手段として利用いただけるものと思っております。また、市外の運行は現在しておりません。

日曜日や祝日、お盆、年末年始の期間は運休となりますが、1回あたり300円の料金で家の前まで送迎するなど、大変便利な交通手段です。利用の1時間前までに予約をしていただいたうえで、ぜひ、地域の皆さんからご利用いただきたいと思っております。

続きまして、ホームページに工事情報を掲載してほしいとのご要望についてであります。

五泉市では、市民の皆さんが、安全で快適に暮らせるために道路工事や、おいしい水が飲めるようにするための水道工事、また自然にやさしく快適な暮らしを送れるようにするために下水道工事などを行っております。

道路は地域の生活を支える大事な公共施設です。利用される皆さんが困らないように工事を始める前には、関係する町内の方に前もって工事の内容や、工事の期間などを回覧板などでお知らせしています。また工事現場では、この先の道路で工事を行っていますという予告看板や工事個所の道路が通れない時に、どこを通ればよいのかを示す迂回路の看板などで、通行に不便にならないようにしています。

五泉市内では1年間に多くの工事が行われています。通行する人には十分気を付けていますが、緊急な道路工事もありますので、車を運転する皆さんにはご不便をおかけすることもあります。

廣瀬議員が提案する、ホームページを使い工事情報を広くお知らせするというのも大変良い方法だと思いますし、事前に交通情報があれば車を運転する人も便利になると思います。情報をお知らせするための方法として、ご提案のホームページのほかに、市

の広報紙、またカーナビゲーションでの交通情報、テレビやラジオ放送などがあると思います。工事の内容や規模によってお知らせする情報が変わってきますので、ホームページがどのように利用できるのかを考えさせていただきたいと思います。以上であります。

○議長（田中 菜月さん） 廣瀬議員、ただいまの回答内容について再度質問はありますか。

○11番（廣瀬 新菜さん） 五泉市では年間に何ヶ所工事を行っていますか。

○議長（田中 菜月さん） 塚野都市整備課長。

○都市整備課長（塚野 一也君） 今ほどご質問の五泉市の工事であります。まず道路工事に関するものですが、道路を広げたり、あるいはその側溝を直したりという工事が45件。水道に関するものが58件。下水道に関するものが44件。あわせて147件の工事を今年度実施しております。以上です。

○議長（田中 菜月さん） 廣瀬議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○11番（廣瀬 新菜さん） ありません。

○議長（田中 菜月さん） 次に、議席番号12番、相良春香さん。

○12番（相良 春香さん） それでは、川東中学校2年 相良春香がご質問します。  
テーマは農業についてです。

私は、五泉市といえばさといもやキウイ、れんこんなどの農産物が浮かびます。そしてそれらは最近知名度が上がってきていると感じます。ですが、それは一部の人で多くの人に知られているとは思えません。そこで、これらの農産物を知ってもらうために行っていることは何かありますか。五泉市を知ってもらうためにはこういった農産物の一つのきっかけになると思います。ですが、農産物だけでは何度でも来たい、あるいは定住したいと思うには少し弱いと思います。そこで、来てもらう側である五泉市そのものが魅力あるまちづくりをしていく必要があると思います。最近、人口が減ってきているので、市外から人を集めるのが重要になってくると思います。そのために大切な農産物のPR方法をもっとよく知りたいと思います。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 相良春香議員の農業についてのご質問にお答えいたします。

相良議員をはじめ、ここにお出でになる議員の皆さんも、学校での学習などを通して、五泉市にたくさんの特産品があることはご承知だと思います。

特に、きめ細かな白肌の帛乙女やれんこん、くり、ぎんなん、果物でもキウイフルーツやイチゴなどが挙げられます。

また、チューリップの球根は県内屈指の生産量を誇り、ぼたんは全国的にも大変有名であります。

そして、五泉市にはこれらの農産物をPRし、販売するイベントがたくさんあります。

春には、五泉市全体で春の花シリーズという取り組みを行っています。これは、3月下旬の水芭蕉の開花から始まり、桜、チューリップ、ぼたんと次々に街中に色鮮やかな花々が咲き、5月中旬まで五泉市内で楽しむことができます。その中でも、チューリップまつりは一本杉地区で150万本の花が畑一面に咲き、市内外から多くの方々を訪れます。また5月上旬に開催される花木まつりでは、東公園のぼたん百種展示園に120品種5,000株のぼたんが咲き誇り、皆さんから楽しんでもらっています。

また、秋になりますと10月にさといもまつり、11月には農業まつりなどを開催し、五泉産の新鮮な農産物をPR販売し、毎年多くの方々からお越しいただき大変よろこんでいただいています。これらのイベントは五泉産の農産物を広く皆さんに知ってもらうとともに、販売する範囲を広げていこうということから、生産者や農協など関係の皆さんと協力して開催しています。

また、これらのイベントは五泉市内で開催するだけではなく、毎年、県内では新潟市のふるさと村で行われます観光物産展や、県外でも東京の日本橋プラザビルや新潟県が地元のPRと情報発信のために出店しています表参道新潟館ネスパスで農産物の販売を行っています。また、首都圏の地域に密着したイベントでは、東京の江東区で毎年秋に行われています江東区民まつり、また、忠犬タマ公が縁で長く交流を続けています神奈川県横須賀市のよこすか産業まつりにも参加してPR販売を行っています。

これらの各イベントには大変多くの皆さんが来場され、五泉の農産物を買っていかれます。その中には、これらのイベントで五泉の特産物を買うことを毎年楽しみにしている人も多く、これらを通じて、県内はもとより首都圏などでも、五泉市の農産物の知名度は上がってきているものと感じております。

さらに新しい取り組みとしまして、昨年度より始めましたふるさと納税でのお返しの商品としてお米やさといも、また農産物の詰め合わせなどを用意し、喜んでいただいています。また、今年度から、イベント時や直売所で販売する農産物の一部に五泉産のシールを貼って、一目で五泉のものと分かってもらえるような取り組みも始めました。

相良議員がおっしゃるとおり、五泉の農産物で五泉市をもっとPRしていくことは、とても有効な手段だと思っております。

五泉の恵まれた自然から生み出された、魅力ある安心・安全で美味しい農産物を、これからもPR方法を工夫しながら、より大勢の皆さんに知ってもらえるように取り組んでまいります。以上であります。

- 議長（田中 菜月さん） 相良議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。
- 12番（相良 春香さん） 最近では、インターネットなどが普及してきていますが、それを使った販売の促進などについてはどう考えていらっしゃいますか。
- 議長（田中 菜月さん） 佐藤農林課長。
- 農林課長（佐藤 豊君） 市の農産物、特産物につきましては、大きく販売されているのが、JA新潟みらい農協さんからの販売が、取扱いが一番多ございます。今のインタ



一ネットの関係につきましては、農協さんのほうでですね、ホームページ等でPRし、申込み等可能になっておりますので、今のところはそちらのほうでというかたちでお願いをしております。以上です。

○議長（田中 菜月さん） 相良議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○12番（相良 春香さん） ありません。

○議長（田中 菜月さん） 次に、議席番号13番、齋藤まるさん。

○13番（齋藤 まるさん） それでは、山王中学校2年 齋藤まるがご質問します。

テーマは、グローバルな時代を迎えるにあたり、です。

私は一年生の夏に五泉市の国際交流の一環としてホームステイを経験させていただきました。とても良い経験となりホストファミリーとは今でも連絡をとっています。今後グローバルな時代を迎えるにあたり、より多くの人とコミュニケーションをとる場が必要だと考えます。

そのために外国の一つの学校と交流をもてるといいと思います。交換留学から始まり、その後も関係を持続させていくために、スカイプなどを使って、お互いに意思交換をし、文化や考え方の違いを理解できるといいと思います。授業のほかにも、休み時間や放課後などにもコミュニケーションをとれる機会が持てると、もっと多くの人々が海外に関心を持ち、関係を持続できると思います。学校の行事のほか、お祭り、桜の様子など近況を交換し合うことで、コミュニケーションをとることができるし、お互いに情報交換ができると思います。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） 齋藤まる議員のご質問にお答えいたします。

グローバルな時代を迎えるにあたり、より多くの外国人と交流の場が必要であり、そのために外国の一つの学校と持続的に交流してはどうかとのご提案であります。

五泉市では、五泉市国際交流協会が行っている中学生海外派遣事業を応援し、毎年20人の中学生を海外でホームステイに送り出しています。

現地の学校での勉強や、外国の家庭での生活を体験し、世界の人たちと友だちになれる大人へ成長して欲しいとの願いからであります。

齋藤議員は中学1年生の時に、アメリカでのホームステイを経験され、やさしい人たちに出会えたようであります。中学生の時に海外で勉強をしたり、生活したりすることはとても貴重な経験だと思っております。

さて、一つの学校との交流についてであります。長年、行き先としていたアメリカや、今年度の行き先であるオーストラリアのブリスベンの学校などが考えられますが、どの国のどの学校がいいのかは、これから国際交流協会と話し合いながら、長く交流ができる学校を探していきたいと思っております。

交換留学についてのご提案をいただきました。国際交流は海外に出かけるだけの一方

通行でなく、来てもらうことも大切であります。五泉市には毎年モンゴルの子どもたちが訪れていますし、昨年4月には、タイの中学生と高校生が市内の家庭にホームステイをして、五泉中学校で給食を食べたり、五泉高校で民族衣装を着て踊ったりしました。

アメリカやオーストラリア、モンゴル、タイなど、五泉市には海外への窓口がたくさんあります。スカイプと呼ばれるインターネット回線を使用したテレビ電話などを利用しながら、お互いを理解し合うことで、長く交流を続けていける学校を探していきたいと思っております。

斎藤議員におかれましては、海外でのホームステイの貴重な経験を生かし、ご自身の勉強を頑張り、将来において大きく飛躍されることを期待するとともに、五泉市の国際化のために様々なご意見をいただけますようお願いしまして、答弁といたします。以上であります。

○議長(田中 菜月さん) 斎藤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○13番(斎藤 まるさん) 私が平成26年8月に参加させていただいた中学生海外派遣事業は、これまで何回行われ、何人の中学生が海外でのホームステイを経験しましたか。

○議長(田中 菜月さん) 小黒総務課長。

○総務課長(小黒 常樹君) これまでに、中学生海外派遣事業などで、何回行われ、何人の中学生の方がホームステイを経験されたかというご質問にお答えいたします。まず、五泉市の国際交流協会が実施しております中学生の海外派遣事業は、これまで15回行われまして、207人の中学生の皆さんが海外のほうにホームステイされました。

また、旧村松町でも中学生の海外研修事業がありまして、カナダなどでホームステイが8回行われ、80人が参加されたということでもあります。参加された皆さま、きっとよい思い出とともに、言葉や文化の貴重な経験をされたということ、その経験がきっとその後の皆さんの人生といたしますか、生活のうえでも大いに役立っているものだというふうに考えております。以上であります。

○議長(田中 菜月さん) 斎藤議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○13番(斎藤 まるさん) ありません。

○議長(田中 菜月さん) 次に、議席番号14番、丸山藍花さん。

○14番(丸山 藍花さん) それでは、愛宕中学校2年 丸山藍花がご質問します。

テーマは、安心して暮らせる町です。

私たちの愛宕中学校は、来年度閉校します。愛宕中学校という名前がなくなるのは寂しくなりますが、部活動をみると人数が少ないので、良い面もあります。しかし、その背景には、少子化が進んでいるのだと思います。そこで、五泉市は少子化対策としてどんなことを行っていくのか知りたいです。

部活動では、休日に練習試合や大会が多くあります。そのために、自分の親に送ってもらうことが多くなり、送り迎えが大変です。また、バスを借りるとしても、バス代が値上がりし、交通費がとてめにかかります。そこで、五泉市が所有するバスの利用はお願い

いできないでしょうか。このように部活動が活発になれば、他校の人が来ることも増え、五泉市にたくさん人が来ることになります。

最後に、私たちの通学路に街灯が少ない場所があり、とても危険を感じます。増やして欲しいです。

以上で壇上からのご質問を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 伊藤市長。

○市長（伊藤 勝美君） それでは、丸山藍花議員のご質問にお答えいたします。

はじめに少子化対策についてです。

少子化の一つの原因として、五泉市の人口は減少を続けています。五泉市の人口は、合併した平成18年、2006年には5万8,000人でしたが、現在では約5万2,000人強となり、10年間で約6,000人弱の減少を見ました。このまま減少が続いた場合、地域の賑わいや活力がさらに低下し、五泉市として存在することそのものが難しくなると思われま

す。このような状況に歯止めをかけるために、市では昨年、総合戦略という計画を作りました。この総合戦略では、人口を出来るだけ減少させないため、未来世代を守り育てるという目標を掲げ、少子化が進まないよう様々な取り組みを行います。そして、多くの赤ちゃんが生まれることで、人口が増え、まちの元気や賑わいをつくっていきこう、ということを目指していきます。

その方法として、まず多くの赤ちゃんを産んで、育てていくためにかかるお金の負担を少なくすることにいたしました。具体的には、多くの子どもがいる世帯では、子育てにもたくさんのお金がかかります。そこで、3人以上の子どもがいる世帯の3人目の子どもから保育料を無料にするというものです。

また、妊娠中や出産前後のお母さんや高校生までの子どもさんの医療費の負担を少なくする取り組みも行っております。

このほか、産婦人科医が五泉市内にはないため、出産する妊婦さんが市外の病院に安心して、また優先的に行けるよう出産サポートタクシー制度なども新たな制度として行いたいと考えています。

また、子どもを産み育てるためには、お金の負担だけではなく、お母さん、お父さんの心の負担も大きいので、それをできるだけ少なくするために育児セミナーやいろいろな教室を開いて、楽しく子育てができるようにしています。

このほかにも子育てを応援する制度はたくさんありますが、すべては多くの子どもたちが、この五泉市ですくすくと健やかに育つように、との思いが込められているもので、丸山議員や、その次の世代の皆さんにも、この五泉市をしっかりと引き継いでいくためにも、これからもいろいろな取り組みを進めていきます。

続きまして、街灯についてのご質問ですが、市では防犯灯と呼んでおりますので、防犯灯の設置についてお答えいたします。

防犯灯については、その設置や修理について、集落内は町内会で行い、集落と集落の間は市が行っており、市の設置する防犯灯は、通学路を優先に順番に設置しております。

また、防犯灯の電気代などは市が支払い、設置や修理は町内会にお願いしております。

丸山議員がおっしゃるとおり、児童・生徒の皆さんはもちろん、利用される方々が不安や危険を感じることはないよう、防犯灯を計画的に増やしていきたいと思います。

なお、学校に関する市のバスについてのご質問は、教育長がお答えいたします。以上であります。

**○議長（田中 菜月さん）** 井上教育長。

**○教育長（井上 幸直君）** 丸山藍花議員の、部活動における練習試合に五泉市が所有するバスを運行できないか、とのご質問にお答えいたします。

教育委員会では、中学生の皆さんが郡市大会に出場する際には、市が所有するスクールバスを運行しています。

また、市が所有するバスの運行のやり繰りが付かず、学校において民間のバスをお願いする場合のバス代や、郡市大会の上位の大会の、地区大会や県大会、全国大会など各種体育大会、あるいは吹奏楽コンクールに出場するためにかかる交通費や宿泊代については、全額補助するというかたちで皆さんの部活動を応援しています。

しかし、練習試合に市で所有するバスを運行するとなりますと、バスの台数に限りがあり、休日などに集中したときに十分な対応ができないこと。そして何よりも、休みの日に運転手さんを確保することが難しいという問題があります。

丸山議員の、送り迎えの大変さや他校との交流の大切さのお話しも十分理解していますが、休日の練習試合の送迎については、難しいものと考えています。以上です。

**○議長（田中 菜月さん）** 丸山議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

**○14番（丸山 藍花さん）** お話しの中で、色んな大会に出場する時には市から補助金が出ていることを私は初めて知りました。本当にありがとうございます。ところで、この補助金は市内の中学校全体で、いくらくらい貰っているのか分かったら教えてください。

**○議長（田中 菜月さん）** 杉山学校教育課長。

**○学校教育課長（杉山 信二君）** それでは丸山議員の中学校の部活動の補助金の額についてお答えします。

去年の実績ですと、平成26年度に中学校の部活動で、皆さんが出場した郡市大会や県大会などの各種体育大会への補助金が744万2,000円でございます。吹奏楽コンクールで地区大会や県大会、それから、西関東大会に出場した時の補助金は217万円。それで合計しますと、961万2,000円ございました。

ちなみに今年度はですね、今までの、今日までの合計で約1,000万円の補助金を市内の中学校に交付しております。

また、今年度は山王中学校の横田君がジュニアオリンピックの1,500mで優勝するとい

う偉業を成し遂げましたが、教育委員会では丸山議員を始め、中学生の皆さんの大切な思い出や友達づくり、そして貴重な経験の場として、引き続き、部活動を応援していきたいと考えております。以上です。

○議長（田中 菜月さん） 丸山議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○14番（丸山 藍花さん） ありません。

○議長（田中 菜月さん） 以上で市政一般に関する質問はすべて終了いたしました。

---

#### 日程第4 講評

○議長（田中 菜月さん） 次に、日程第4、講評です。

本日のご来賓を代表されまして、五泉市小・中学校・幼稚園校園長会会長代理 吉澤 克彦 様より講評をお願いいたします。

○五泉市小・中学校・幼稚園校園長会会長代理（吉澤 克彦君） まずは、五泉市合併10周年おめでとうございます。その記念事業として、市内の小・中学生の、このような機会を与えていただきましたことに、本当にありがとうございます。

講評ということで、先ほど議員さんに、本当の議会でも講評ってあるんですかって聞いたんですけど、それはないと言われたので、私がこれから話すことは、教育の場というか、皆さんへの激励それからお礼を込めた話というふうに考えています。

最初に大枠について話をした後、細かな点について話を、講評をしたいというふうに思います。

今まさに18歳の選挙権という年なわけですけども、そういう機会に、そういう年に議場を使わせていただいて一日子ども議員になった皆さん、これからの日本とか、五泉市の今と未来について貴重な体験になったんじゃないかなあというふうに思っています。皆さんは市民、それも極めて若い市民なんですけれども、五泉市を思う気持ち、そして自分たちの学び、地域を真剣に考えた質問は大変立派だったというふうに思っています。質問というかたちですけども、自らの意見を述べる場というふうに捉えて、しっかりとした意見が話されたんじゃないかなあというふうに思います。私自身も初めて知ることがありましたし、大変感銘を受けたこともたくさんあって、認識を新たにすることができたことをうれしく思っています。人と自然が織りなす五泉市なわけですけども、市長さんが、住んでよかった、住みたいまち五泉市というお話をされたんですけども、皆さんの質問の共通項目というのは、やはり、ここが、何のために質問するのかというと、そこにくるんじゃないかなあというふうに思います。みんなで五泉市を良くして行こうと、そんな思いが伝わってきました。思いは招くという言葉があるんですけども、思い続けていると、その思っていることが通じてそういう機会が与えられたり、そういう人に出会ったり、仲間に出会ったりして、その実現が少しずつ、一歩ずつ自分のところに招かれてくると、そういうような意味なんだというふうに聞いたんですけども、今日の子ども議会の議員の皆さまは、その思いは招く、自分の思っていることをここで

発表することによって、一步その思いを近づけたんじゃないかなあというふうに思っています。また、こういう議会の場ですけれども、大人のというか、本当の議員の皆さまが五泉市の当局と一緒に、こういうところでいろんなことを議論し、考えてくださっていることで私たちの市民生活、学校生活が成り立っているんだなあというふうに思って、考えさせられました。五泉市の課題の解決に向かってしっかり私たちも歩んでいきたなあというふうに思っています。それにしましても、3人選ばれた議長さんはとてもきりっとした進行をされていました。ほんとに立派だったなあというふうに思いますし、そして各議員の皆さんも質問がそれぞれ歯切れの良い立派な考えに基づいた質問であったというふうに思います。学校でも練習したり、先生方の指導を仰いだと思うんですけれども、まず自分たちでしっかり自分たちのことを考えるということが大事で、今学校現場でも、アクティブ・ラーニングっていう名前でも人と係わりあったり、そして調査をしたり発表したりっていう力をしっかりつけていこうという考え方にシフトしています。知識の量を身に着けることも大切なんですけれども、それを活用してみんなに訴えていく、考えて、一緒に考えていく力っていうのがこれからの日本、地域に必要なんだというふうに思います。地域、それから市民の一員としてしっかり歩んでいかれることを願っています。

さて、質問なんですけれども、私は大きく4つのカテゴリーっていうか、考えと質問の中身があったなあというふうに思っています。重なりあう質問もたくさんあったんですけれども、例えば、生活づくり、まちづくりっていうかたちで見ますと、10番の落合議員、それから14番の丸山議員が話された利便性のあるまちや少子化対策、そんなところに自分たちは考えていく。今学校の学級が減っていくこととか、さまざまなことから、今身近にやっぱりそういうことも考えていきながら、生活づくりやまちづくりについて、どんなふうに思っているんだろうということを質問されたんだなあというふうに思います。それから、安心・安全、安全・安心っていうことについては、4番の五十嵐議員、それから6番の齋藤議員、それから通学路の話をした8番の難波議員、それから11番の廣瀬議員など、通学路なんかも含めて防犯だとか交通のことについてお話をされたなあ。子どももお年寄りもそれから生活者も、みんな安心・安全なまちになってほしいっていう願いがそこにはあったなあというふうに思いました。それから五泉市の特徴や資源の活用という観点から、2番の芹澤議員とか、それから農業については梅田議員さんとか、12番の相良議員も質問されていましたけれども、五泉市の観光や強み、それから良さについて、まず目を向けた。そしてさらに一步前進するためにはどんなことがあるんだろうっていうことを考えた質問内容だったなあというふうに思います。それから教育とか、自分たちでやることっていうことで、1番のボランティアのことだとか、田中議員ですね。それから9番の戸井田議員のごみのこと、それからタブレットがほしいと言った、大賛成っていうふうに私も思ったんですけれども、大江議員、それから外国との交流について語った齋藤議員。自分たちができること、それから今頑張っているこ

とに根差した質問をされたなあというふうに思っています。このように教育の場、それから五泉の良さ、まちづくり、それから安全、そんなような観点でみんな思っていることを質問されたなあというふうに思ってます。ほんとに私も学校教育に携わりながら、お世話になっているわけですが、例えば学校給食が自校であるなんてことは、ほんとに五泉の中では素晴らしいことだなあと思いますし、毎年中学生を海外に送ってくださっているっていうことも本当に素晴らしいというふうに思ったりしています。私たち小・中学校、それから園でも未来を担う子どもたちをしっかりと人材として、世界で堂々と活躍できる人材として送り出していきたいというふうに考えております。これからもぜひ物心両面ご支援をいただきたいと思いますし、それからまた冒頭にも述べましたけれども、このような機会を与えていただいたことに大変うれしく思いますし、それに応えて立派に質問した皆さんは本当に素晴らしいというふうに思っています。合併 10 周年本当にありがとうございました。以上で講評を終わります。

○議長（田中 菜月さん） 吉澤様、ありがとうございました。

---

#### 日程第 5 子ども市議会議長あいさつ

○議長（田中 菜月さん） 次に、日程第 5、子ども市議会議長あいさつです。

本日 3 名が議長を務めました。代表しまして、愛宕中学校の丸山議長がごあいさついたします。

丸山議長は登壇してください。

○議長（丸山 藍花さん） このたびは、子ども市議会議員という大役を務めさせていただきありがとうございました。

私にとって、初めての市議会議員役ということで、大変緊張しましたが、無事質問と議長役ができてほっとしています。

また、本日参加しました子ども議員さんからは、いろいろな質問が出て、五泉市を良くしたいという気持ちが伝わってきて、とても良い機会になったのではないかと考えています。

今日の子ども市議会は、私たちの住む五泉市をもっとよく知るという機会になりました。また、市議会議員の皆さんのお仕事が市にとってとても重要な仕事だということがわかりました。

この議会に参加したことを機会に、今日参加された皆さんと一緒に、さらに五泉市を良くしていきたいと思えます。

市長さん、議長さん、また、ご来賓の皆さまや課長さん、今日は良い機会を与えていただきありがとうございました。

また、本日参加された皆さんもご協力ありがとうございました。

---

## 閉会宣言

○議長（田中 菜月さん） 次に、閉会宣言です。

以上で、本議会の日程はすべて議了いたしました。

これにて、五泉市合併 10 周年記念事業 五泉市子ども市議会を閉会いたします。

午後 3時36分 閉会

---

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

議 長 田 中 菜 月

議 長 難 波 若 菜

議 長 丸 山 藍 花

(署 名 議 員 田 中 菜 月)

署 名 議 員 芹 澤 柚 香

署 名 議 員 大 江 真 由